

## 教員おすすめ図書コーナー推薦書

教員氏名	おすすめメッセージ
永田 瞬 先生	
① 図書名：1985年のクラッシュ・ギャルズ  著者：柳澤健 出版社：光文社	ライオネス飛鳥と長与千種は、いかにしてプロレスラーとしての国民的人気を得たのか。当時の全日本女子プロレスは25歳定年制であったため、彼女たちが活躍した期間は極めて短い。むしろ、クラッシュ・ギャルズ引退後の女子プロレスの苦悩を描いている点が本書のユニークなところ。ダンプ松本を主人公にしたネットフリックス『極悪女王』と合わせて読みたい。
② 図書名：ルボ不法移民  著者：田中研之輔 出版社：岩波書店	米国カリフォルニア州留学時の日雇い労働経験をまとめた本。筆者は日雇い現場のボスと仲良くなり、仕事がない時は、知人料理店に行ってビールを飲む。母国に家族を残すメキシコからの日雇い労働者は、ビールを飲んでいると警察官に目をつけられたり、白人男性に差別的な発言を向けられたりする。そうした日常の描かれている点が面白い。非正規滞在の移民は米国の産業に組み込まれているし、そう簡単には排除できない。それが本書から読み取れるメッセージの一つ。
③ 図書名：インドラネット  著者：桐野夏生 出版社：角川書店	不安定雇用で、週末はゲーム三昧の主人公が、高校時代の友人の父親の葬式に出て、運命が変わる。音信不通だった友人を探しにカンボジアに出かける。現地のバックパッカーに騙され、宿泊所でバイトをし、徐々に高校時代には知らなかった友人の素性が明らかになる。情けなかった主人公が途中からたくましくみえる。けれどもやっぱり誰かに騙される。海外旅行の猥雑さみたいなことがうまく描写されている。